

伊方発電所3号機使用済樹脂貯蔵タンク増設工事に関する説明会アンケート結果一覧

開催日：令和5年7月24日

No	問1 説明会の内容についてのご感想	問2 使用済樹脂貯蔵タンクの増設工事についてのご意見	問3 原子力発電に関連すること、その他のご意見
1		問題なし。しかし、原子力発電で地域起こしとして、有効な電気料金を住民・企業に提供すべきだと思います。	①原子力発電は必要と思います。 ②世界で最も安全管理を実行し、地域の発展に寄付して頂きたいと思います。 ③地域発展には電力が必要です。企業等また住民についても2割～4割程度格安電気料金で地域の経済・人口対策に必要ではないでしょうか。
2		四国電力の設置目的・増設理由について理解できた。原子力規制庁・愛媛県の審査基準に適合しており、基本的に賛成。ただし安全確保を最優先に工事を行ってほしい。	
3	・使用済樹脂貯蔵タンク関連の予備知識が一般の方にはまったくと言って良い程ないと思うので、事前に基本的な説明資料を説明会の前に渡しておくべきでは。 ・原子力の一次冷却材の清浄化のしくみ等一般の人は知らないと思うので基本的なシステムをしっかりと説明して、使用済樹脂がなぜ発生しどの程度の汚染のものなのか、またなぜ使用済樹脂タンクが必要になり、今回の増設の必要性が発生してきたのか一般の人にも分かるように説明して欲しかった。	一般の人も基本的なことが理解できれば増設工事の必要も理解できると思う。電力さん、規制庁さん、県も既にシステムを理解した上で説明しているから、工事については問題はないと考えるが、一般の人と関係者のギャップも理解して対応して欲しかった。	現在の世情、化石燃料の高騰も考えれば原子力政策を推進していくのは理解できる。一にも二にも安全、安心を優先して政策を進めて欲しい。話は変わるが、今、福島汚染水の海上放出について非常に心配している、確かに希釈の基準からすれば人体には影響はないのかも知れないが漁業従事者の方々の風評被害等考えれば簡単に割り切れるものではない。この問題についてはおいそれと解決しないと思うが、ある程度の国民の理解が得られるよう努力して頂きたい。
4	四国電力からの説明（申請）、それを踏まえての原子力規制委員会からの設置変更許可審査結果・現地調査等の理解が得られた。	伊方発電所3号炉では、2基の使用済樹脂貯蔵タンク（3A・3B）を使用していること。さらに3号炉の運用開始以降に発生した量を考慮すれば令和11年頃には超過する可能性があるならばタンク1基増設しなければならないことを理解した。また、増設に伴い新たに遮へい壁を増設することによって安心・安全の確保ができることを確認した。	日常生活に必要ではあるが、市民の不安が募らないよう安全確保を徹底した情報開示をお願いしたい。
5	国の原子力政策で最終処分場が未確定の中、今後も、促進という方向であろうと思うが、それは、下水道を推進するに例えると、処理場を造った後に下水処理を推進していくのが正しいので、今からでもはっきり、最終処分場の決定をすべきである。		
6	細かく説明されてよかった。	壁厚も1250mm以上あるとの事で、既設壁との取り合せ、接着に気を付けてもらいたい。	とにかく安全管理に力を注いでもらいたい。
7	説明についてはよく分かりました。既設3A、3Bタンクについては、耐震性は確保されていて、その上で今回増設される3Cタンクについてはより耐震性を確保する為の基礎ボルトを使用するという理解でいいのでしょうか？使用済樹脂の処理方法の決定をできるだけ早期に行って頂き、安全性を持って処理して頂きたい。	3Cタンクについては、分割した材料を現場で組み立てるとのことでしたが、大丈夫だとは思いますが、少しだけ気になった。耐用年数が気になった（60年と伺ったが、3A、3Bはすでに終年しているの、60年になるまでには、処分先が決まるのか不安）	安全性については、十二分に配慮いただき、地域住民に不安を与えないよう努力して頂きたい。
8	説明が丁寧で分かりやすい。	基準通りであれば問題はないと考えます。	
9	四国電力、原子力規制庁、愛媛県、それぞれの立場で増設の必要性、審査、県の審議概要等、安心・安全に放射線量も問題ないとの事であるが、地震や火災への対応についても、理解出来たと思う。市民代表者の方は、どういった団体代表の方か、事務局の説明があっても良かったと思う。	原子力規制庁の資料の中に、高浜、玄海、川内原子力発電所において使用済樹脂貯蔵タンクの増設の審査実績があり、年数も古い物で40年近く経過しているの、その点については安心している。最終処分場については、早く決定して頂きたい。	
10	使用済樹脂について、事前の資料が欲しかった。今まで聞いたことがなかった。	最終処分場も決まらないのに、貯蔵タンクばかり増設して、60年後は、自分達の代には、考えなくていい、先送りでは、次の世代へ送るだけで無責任ではないか。原発自体をやめるべきで反対です。	最終処分場も決まらないのに、原子力発電はやめるべきだ。
11	案内文には市民の意見を踏まえて県に回答するために開催すると記されている。説明会ではあるが出席者（市民を代表する立場）の意見を集約することが主な目的であり、そこに十分な時間を確保すべきであった。結果として質問に終始し、増設工事に関する意見はほとんど出なかった。案内する相手を選出するのはよいが、市民にも傍観者としてではなく、自由に発言させるべきである。また、意識調査の観点からも、今回のアンケートに一部選択式の設問も取り入れて、市として把握しておきたい事柄について、広く多くの考えを聞くべきであった。	異議はないが、長期間稼働している既設の貯蔵タンク内使用済樹脂の処理さえ未定であることに疑問と不安を感じる。本日登壇された関係者の在職中は、おそらく現状維持であり、結局は将来が未決のまま先送りされ、担当者も入れ替わりを繰り返して責任が曖昧になることでしょう。規制委員会が最終処理は関知しないなど、システムそのものが合理的ではない。「どうにかなる」「誰も責任を取らない」と感じた説明会であった。	過去において原発の果たしてきた役割は大きい。しかし、直接原発に関わる人も含め、現状レベルの原発を100年後も残してよいと考える国民がどれほどいることか。安定、安価、安全な次世代エネルギーの開発に国をあげて取り組み、リスクの高い原発が自然淘汰されていく時代が到来することを強く願う。

No	問1 説明会の内容についてのご感想	問2 使用済樹脂貯蔵タンクの増設工事についてのご意見	問3 原子力発電に関連すること、その他のご意見
12	従来のタンクと同様な物で不安は感じなかったが、工事中の事故が無いようにお願いしたい。	是非、安全に事故がないように工事を行っていただきたい。完成された施設においても安全を第一に運用して頂きたい。	基本的に原発は必要だと思っているが、耐用年数を越えたものに対しては不安を感じる。安全性の確保が一番であるので、今後も運転に関しては細心の注意を払って行って頂きたい。
13		3Cタンクは胴板8分割となっているが強度に問題がないのか心配である。耐久年数はあるのか。また3C1基でおよそ何年間使用済樹脂が貯蔵できるのか。万が一の事故としてどのような不具合が考えられるのか。またその対処法は。	やはり今後起こりうる南海トラフ巨大地震等の災害における安全性が心配である。定期検査での見落としがないよう細部にまでしっかり点検願いたい。
14	本日のテーマがテーマだけに専門用語が多く短時間では中々理解が進まないが、処々の説明でしっかりと詳細まで報告頂いたのがわかり易くなりました。国の対応窓口では安全性に十分なお配慮をお願い申し上げます。安全に対する予算にあっては、予算を削れることなき様十分な予算の獲得に向け頑張ってください。安全第一。	不足するものは、増設一択と存じます。様々な場面でエネルギーの安定供給や、安価な形での供給を求める声が多くあり、産業の出発点である燃料や、原料の大宗を担う産業であり、今後共安定供給に向けた、取組みを是非お願いします。また工事については、原料の性能を第1としコストの考慮は、第2として頂き、安全性を最優先としてください。	活動家や左派勢力の動きに負けず、安全対策を十分にされた上で、一日も早い原発稼働（全国的な）をお願い申し上げます。日本のGDPにエネルギーは、最も重要かつ安定的な供給が求められるものと認識しています。私の経営する会社も、電気代の高騰に苦慮して折、人手不足の中頑張ってくれている従業員さんの給料にも、悪い影を落としています。先の東電の事故も、もとはと言えば国政のあやまりであり、電力会社の貴重な人材を、そのあやまりで失い、ハードソフト両面の損失は大なるものがあります。産業の礎としてのエネルギー供給に今後共お力添えをお願いします。
15	安全第一でやってると思いますが、これからも継続して頂きたい。	処分の問題は、全国的で仕方ない。いい最終処分ができるのが一番である。	
16	国の指導により埋設施設や処理方法を早急に決定して欲しい。	増設工事やその後管理について徹底した安全管理は当然であるが情報開示を求める。	最終処分について方法や場所が未定では不安感は拭えない。
17	丁寧で分かりやすい説明に努めて頂きました。とにかく、専門用語で説明しがちですが対住民という立場で今後も分かりやすい説明をお願いします。	現在2基のタンクを使用して使用済樹脂の貯蔵をしていますが、今後の使用状況から7年後の令和11年頃に容量を超える可能性が見込まれていることから増設するとの説明でありました。このことから、少なくとも令和11年以降も伊方発電所敷地内に放射能を減衰させた使用済み樹脂が存在することが十分考えられます。一時的な保管としながら実際はある程度長期間の保存になることが懸念されることから日本原燃の再処理工場の完成時期はいつなのか、また実際には完成するのだろうか。また、高レベル放射性廃棄物の処分地も決まっていない状況で伊方町に据え置かれる懸念もあることから、低レベル、高レベル廃棄物処理の具体的な時期を示していただき実現に向けて各関係機関には自ら負荷をかけながら取り組んで頂きたいと思っております。	今後も、四国電力株式会社様には、えひめ方式による異常通報連絡や戸別訪問等による地元住民等への説明を継続して実施してください。それが、原子力事業者と住民の信頼関係の醸成に繋がるものと考えています。
18	最終的な処分方法が決まっていない中、溜まり続けるゴミの保管場所を作らなければならないという議論は虚しい。	放射能の漏出等があると、柑橘産業は多大な被害を受けることになる。そのようなことがないように、慎重な工事、その後の維持に取り組んでいただきたい。	
19	説明を受けたが、分かりにくかった。	適切であると判断した。	
20	四国電力・原子力規制庁・愛媛県から、丁寧な説明であったと思います。	施設の運用にあたっては、安全確保と環境の保全を何よりも優先してください。又、保管状況及び施設内の放射線量について、適宜、市及び市民に対して情報公開を行うこと。	国内の原発から発生する使用済み燃料を巡っては、最終処分のあり方も決まっていない。国の責任において最終処分の場所や方法を早くまとめてほしい。
21	私は知識不足ですので愛媛県、原子力規制庁、四国電力様よりの説明をお聞きするのみです。専門家の方々にお願いする感じです。	想定外が日々、起こっている現代です。将来未来、安全にをお願いしながら専門家の方にお任せしたいと思っております。	
22	原子力規制庁の説明は分かりやすかった。四国電力分を補った説明だった。当初から計画されていた3Cですので、増設は想定通りだった。	四国電力さんを信用して行なってもらって。説明については、内容は分かりにくい。一般の人には理解できない。信頼していますので、よろしくお願いします。	原発に関しては、環境を考えながらではあるが、動かす必要はあるのではないか。火力に変わっての発電がなかなか無い状況では並行して動かざるを得ないのではないかと。
23	特になし	増設は良いが、使用済樹脂とは。そもそも、今後の処分に関する内容の説明が薄い。	原子力規制庁様の解答に関して、地域住民に対して、寄りそった解答ではないような印象を受けました。
24	専門用語を分かりやすく説明してもらっており良かったと思います。	使用済樹脂を処理するにあたり貯蔵するのに必要なタンクが不足しているのであれば仕方ないと思っております。	周辺住民の不安がなくなるよう納得いく説明をして欲しい。
25	質問に対する答えが、不十分。誠実に答えていただきたい。	説明が不十分であると感じます。	分かりやすく、説明を広範囲に行って欲しい。どういうリスクがあるのかも説明して欲しい。
26	細かいことは理解できないが、今回の増設に関しては必要であることは理解できた。	必要な物であるなら、増設するのは仕方ない。事故のないように工事をして頂きたい。	地球温暖化を防ぐためにも原子力発電は必要であると思っている。ただ事故による放射線の被曝が心配である。くれぐれも事故のないようにお願いしたい。

No	問1 説明会の内容についてのご感想	問2 使用済樹脂貯蔵タンクの増設工事についてのご意見	問3 原子力発電に関連すること、その他のご意見
27		タンクの耐久性、管理状況に不安あり。	タンク増設で時間稼ぎはできるだろうが、最終処分場問題を解決しない限り、原子力発電の継続をできないことは、明らかである。政府は「最終処分に向けて国の責任で取り組む」と宣言したが、その後の進展は明らかにされていない。電力各社と連携した動きもしているとは聞くが、情報発信も十分とはいえず、実に不安である。
28	この増設工事について、これほどの大きな説明会が必要だったのか。危険性の大きなものであれば、きちんとした説明も必要かと思うか、説明を聞いた限り、文章とかで良かったのではと思いました。	特にありません。	安全運転をお願いします。
29			隣接している八幡浜市の市民としての要望は、「安全な施設」であり続ける努力と改善をお願いします。
30		現在、福島原発において使用済み核燃料を海に放出する問題が起きてます。またそれとは別物だとは思いますが、今2基の貯蔵タンクがあり、それで納まらない以上、増設工事は必要かと思えます。	現在、電気代金の高騰により生活苦になっている状況下、必要不可欠な施設であると思えます。
31		専門ではないので判断出来ません。	既存にあるので将来的には、廃止すべきであろうが、十分情報公開して市民の不安を、少しでも減らしてもらいたい。農家の一般的な意見としては、直ちに廃止すべきと言う人が、大半であります。
32	使用済樹脂タンクの使用年数は半年から1年。また、使用済樹脂貯蔵タンクの使用年数は60年。使用済樹脂の処理方法は減容して埋設処理すると決まっているが、最終処分先は決定していない。埋設場所の検討は、電力会社が発生者責任のもと検討するとの説明であった。現状において最終処分先の決定には難題が多いと感じている。 発生者責任とは言え、原発立地隣接住民の不安解消に向け、さらなる国・県・電力会社三社の連携のもと、一日も早い最終処分場の確保を切に願う。	科学的知見に基づくものであり、使用済樹脂貯蔵タンク増設工事については何ら問題はない。	安全第1をモットーに地域住民の意見に真摯に向き合って頂きたい。
33	丁寧な説明で充分理解出来ました。	安全管理に留意し、事業を進めて下さい。	
34	・専門的な事はわかりませんが今日の様な説明会は定期的に必要なと思います。 ・全国に地震が起きているか損傷の防止など設計期準対象などしっかり確認して欲しい。	・使用済樹脂を一時的に貯蔵して、放射能を減衰させる設置であるとお聞きしましたが、どの程度まで減衰できるのでしょうか。 ・使用済樹脂貯蔵タンクの設置場所がどこに設置されるか不安に思う。	科学的根拠に基づいて議論されているとは思っていますが、安全対策に期待しています。
35	使用済樹脂貯蔵タンク2基の貯蔵容量を超過する可能性があるため3号機使用済樹脂貯蔵タンクを増設する主旨、使用済樹脂貯蔵タンク増設工事の概要・設計方針・処理方法工程など図解されていて理解しやすかったです。伊方発電所の周辺環境・人々の安全を第一にお願いします。最終処分先もできるだけ早く熟慮される事を望みます。		
36	専門的なことで事前に学習していないとイメージがしにくいです。審査も通っており安全性を確保しているのですが、事故が起こる時は想定外のことが発生した時なので、更なる安全性を確保するよう努力をして頂きたいです。	必要なことなので仕方がないことだと考えます。四国電力さんも安全性を担保する為に動かれていると思います。大変だと思いますが、よろしくお願いします。	特にございません。
37	専門的な事でよくわからない。市民の代表に丁寧に説明する姿勢は評価します。	特にありません。	特になし。
38	なし	なし	なし

※字句修正及び氏名や個人が特定できる情報等を削除し、原文のまま公表します